

FAN

生活上の問題が起きても ゲームを止められない 小学生にも ゲーム依存

日常生活に支障が！

「ゲーム依存」に関わる新聞記事が目にとまりました。「ゲーム依存」は、ギャンブル依存などと同等の精神疾患として世界保健機関（WHO）に認定されています。

富山大学医学部の山田正明助教らがある県の小学生を調査したところゲームに熱中しすぎて日常生活に支障をきたしてしまう「ゲーム依存」の子どもが五・六%いました。



親子の会話のなかにも「ゲーム」



山田助教は、「ネット利用が長時間であるほど依存の危険性は高まる」と分析しています。さらに「親との会話が少ない、家庭内のルールがない、運動不足、午後十一時以降に就寝」等の項目がゲーム依存と関連があると分析しています。

夏休み期間に入りました。是非この機会に親子交流を大切にしてください。お子様とたくさんお話してみてください。そして、話題の一つとして、ゲーム時間等のことについてもお話ししてみてくださいか。

夏休みは家族で体験をするチャンス！



子どもの長期休業中の楽しみの一つに地域行事への参加や、遠出などの非日常体験があります。コロナウイルスの影響で、地域行事が中止になっていることは本当に残念ですが、身近な自然を観察したり、料理などの家事に挑戦してみても良いかもしれません。

国立青少年教育振興機構の「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」（平成二十二年十月）では、「子どもの頃の体験が豊富な大人ほど「やる気」や「生きがい」を持っていることを明らかにしました。

子どもの心に刻まれる体験活動は、大人になってから、アクティビティに生きていくための糧になっているようです。

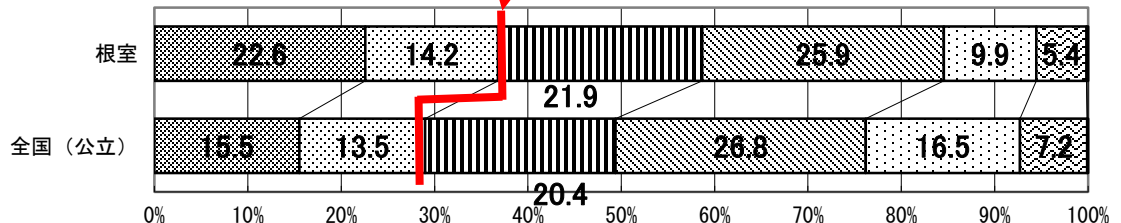
この夏休み期間に、ゲームを離れて、体験活動を大いに楽しみ、親子共にたくさんの思い出を作る事ができれば素敵ですね。

ねむろ子ども情報

令和3年度（2021年度）全国学力・学習状況調査から根室と全国（公立）の比較

【小学校】 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか？

- ☑1. 4時間以上
- ☑2. 3時間以上、4時間より少ない
- ☑3. 2時間以上、3時間より少ない
- ☑4. 1時間以上、2時間より少ない
- ☐5. 1時間より少ない
- ☐6. 全くしない



根室管内の小中学校六年生では、三割以上の子どもが三時間以上と答えており、全国（公立）よりも多くなっています。四時間以上ゲームをやる子どもも二割以上います。ゲームで楽しく過ごす時間も大事ですが、やりすぎには、注意したいですね。